

ライフスタイルに合わせたオーダーメイド研修

刑事司法と対人援助を学ぶ

 こんな人におすすめ！

2022年度生 募集!

- ✓ 刑事司法福祉を学びたい
- ✓ 身近な利用者が逮捕された
- ✓ 出所後の障害者・高齢者を受け入れる予定がある
- ✓ 福祉専門教員だが、刑事司法福祉教科に加わり、教科書だけではよくわからない
- ✓ 地域生活定着支援センターとの連携強化学業をお考えの障害者相談支援事業所

Session1

動画配信
無料

「罪を犯した人々のこれからの人生に寄り添うこととは何か、司法に関わる支援の「奥行きと広がり」について考えましょう」

配信期間：2023年1月13日（金）～2023年2月28日（火）

中村 正 先生（立命館大学大学院人間科学研究科教授）



Session2

中村先生
×
西川先生
Zoom講義
2,000円

「貧困、虐待、虞犯など課題を抱える生徒と向き合った教員生活22年で見てきたこと、人間は“ダメ”から回復されるべき者である。」中村先生と西川先生が社会のあり方、地域の役割などを徹底対談！

配信日：2023年1月25日（水）14:00～16:00

西川 祐功 先生（大阪市立矢田中学校・校長）

中村 正 先生（立命館大学大学院人間科学研究科教授）



NEW 

Session3

動画配信
1講座60分
各講義
2,000円

「罪に問われたらその先どうなるの？ 障害者や高齢者、少年の場合の手続きや配慮は？」司法関係機関ではない領域の人たちに向けたわかりやすい基本的な講座です。優れた講師陣が、刑事手続きの流れから、罪に問われた少年・障害者・高齢者の支援まで解説します。

配信期間：2023年2月1日（水）～2023年2月28日（火）

Session4

よりそい
ゼミナール
Zoom講義
無料

※講義0～8のうち4つ以上を受講した人に限ります

オンライン事例検討会！受講者からの事例を通して、ゼミナール形式で各先生からアドバイスをいただきます！

2023年3月16日（木）14:00～16:00

中村 正 先生（立命館大学大学院人間科学研究科教授）

水藤 昌彦 先生（山口県立大学社会福祉学部教授）

森久 智江先生（立命館大学法学部教授）

NEW 

1講座から
でもOK!



お申込みについて





下記URLもしくは左のQRコードよりお申込みいただけます。
<https://yorisen2022.peatix.com/>

申込締切
2023年2月20日（月）

講師のご紹介

【総論】

講義-0 「犯罪と社会」

中村 正 先生（立命館大学大学院人間科学研究科教授）

ねらい 罪を犯した人々のこれからの人生に寄り添うソーシャルワークの役割と意義について考えます。司法と福祉に関わる支援の「奥行きと広がり」を社会病理学・臨床社会学から理解します

講師プロフィール 立命館大学大学院人間科学研究科教授。立命館大学法学部卒業後、大学院で社会学（社会病理学）を専攻し、現在は、臨床心理や対人援助に関する専門職を養成する大学院で教える。主に加害者の脱暴力臨床を行いながら研究。少年刑務所での性犯罪者処遇、児童相談所での虐待親面談と家族再統合実践、男性問題相談にかかわる団体でのDV男性らへの加害者臨床に関係している。『ドメスティックバイオレンスと家族の病理』（作品社）など多数。

今年のポイント！

「犯罪と社会」という総合的な視野をもとにした支援が求められています。犯罪からの離脱に関わる仕事の、当事者、社会、地域にとっての重要性を多角的に考えます。



特別講義 「学校と社会」

西川 祐功 先生（大阪市立矢田中学校・校長）

中村 正 先生（立命館大学大学院人間科学研究科教授）

講師プロフィール 大阪市立矢田中学校校長 大阪府堺市に生まれ和歌山大学教育学部を卒業後、1982年に大阪市に中学校理科の教諭として採用され、今年で教員生活41年目となる。その間生徒指導主事や同和教育主担者などを務め、生活や人権の課題を通して生徒や親たち、そして地域と向かい合ってきた。そしてそれは現在も進行中。

今年のポイント！

教員生活41年、生活課題や人権課題と向かい合う中で繋がった卒業生とのかわりの中で見えてきたこととお話しできたらな、と思います。



【基本編】

講義-1 「犯罪と刑罰～施設拘禁刑を中心に～」

金澤 真理 先生（大阪公立大学 副学長／法学研究科教授）

ねらい 「犯罪に対して刑罰が科される」という、当然とされていることについて、刑事法の観点から問い直します。また、刑事施設に拘禁される自由刑の現代的意義について学びます。

講師プロフィール 東北大学法学部卒業、同大学院法学研究科博士後期課程修了。山形大学での勤務を経て2010年より大阪市立大学法学部教授。2003年から2004年にかけてドイツ・フライブルク大学刑法法理論研究所客員研究員。(研究) 刑事法、特に未遂論・中止未遂論、社会内処遇論を主として研究。(著書)『中止未遂の本質』、『再犯防止から社会参加へ』（安田恵美と共著）

今年のポイント！

従来の懲役刑と禁錮刑とを「拘禁刑」に一元化する内容の法改正が成立し、その施行による刑罰論全般への影響が予測されます。重要な改正点につき、刑罰に関わる役割に応じ、どのような視点で考えるかについても解説します。



講義-2 「刑事手続きの流れと被疑者被告人の権利」

安田 恵美 先生（國學院大学法学部准教授）

ねらい 刑事手続きの仕組みや流れ、被疑者・被告人の権利保障について理解したうえで、「入口（段階での）支援」の意義について学びます。

講師プロフィール 國學院大学法学部准教授。刑事政策や犯罪学の講義を担当している。高齢犯罪者等が犯罪をするに至った背景にある「傷つきやすさvulnerability」や、そこから陥った「社会的排除」状態に注目しながら、犯罪、科される刑罰、そして釈放後の「暮らし」について日仏の議論・法制度等の比較研究を行っている。主な著作として、『高齢犯罪者の社会復帰と権利保障』（法律文化社、2017年）、金澤真理＝安田恵美＝高橋康史編『再犯防止から社会参加へ』（日本評論社、2021年）。

今年のポイント！

入口支援をする際に、知っておくと便利な刑事手続のしくみや流れ、基本的な考え方について、お話しします。また、+αとして、入口支援のヴァリエーションについても、それぞれ視点の違いを踏まえつつ、ご説明します。



講義-3 「少年法って何のためにあるの？」

森久 智江 先生（立命館大学法学部教授）

ねらい 主に、少年が事件を起こした際の審判の流れや保護処分等について知り、少年司法の役割について学ぶ。

講師プロフィール 立命館大学法学部教授。犯罪学、少年法、刑事訴訟法を専門としている。(略歴)九州大学法学研究院助教、立命館大学法学部准教授を経て、2017年より現職。犯罪をした人の社会復帰と犯罪現象に向き合う社会のあり方について、Restorative Justiceの観点から研究。近年は主に犯罪をした障がいのある人への対応に重点をおいて

今年のポイント！

2021年少年法改正の内容そのものよりも、この改正にどのような意味があるのか、これから少年法の運用において何を変え、何を変えるべきではないのか、少年法という法律の存在意義から考えてみましょう！



講義-4 「社会内処遇の流れと実際」

西原 実 先生（大阪保護観察所 保護観察官）

ねらい 主に保護観察の状況や更生保護の沿革、内容について学ぶ。

講師プロフィール 大阪保護観察所 保護観察官。(略歴)平成元年 法務省 京都保護観察所に採用。以後、奈良、大阪堺支部、大阪、和歌山、神戸保護観察所など近畿管内の保護観察所を転々として勤務し、現在に至る。福祉のケアを必要とするケースの対応に疑問を持ち、国立のぞみの園が実施する双方向研修に講師として参加している。

今年のポイント！

皆さんの対象者が、もし保護観察を受けたら、どのような状況に立たされるのかを、現場の視点から法律や制度なども踏まえてわかりやすく説明します。



講義-5 「刑務所の中の医療とケア」

船山 健二 先生 (新潟県立看護大学地域生活看護学領域精神看護学 講師)

ねらい 塀の内と外における、医療の共通点と相違点、そして医療の絆(つながり)をケアの視点から考えます。

講師プロフィール 看護師・日本版性暴力対応看護師(SANE-J)。15年間の看護実践(大学病院:5年、刑務所:7年半など)を経て現職。精神保健看護学(薬物依存症、知的障害)、司法看護(受刑者、触法障がい者)の教育・研究を行っている。主な共著:『よくわかるヘルスコミュニケーション』(ミネルヴァ書房,2016)、『看護学テキストNiCE看護倫理改訂第3版』(南江堂,2021)、



今年のポイント!

刑務所における医療の実情と出所後の医療機関へのアクセスについて、考える構成となっています。

講義-6 「トラウマインフォームドケア (TIC) の視点から考える支援」

大岡 由佳 先生 (武庫川女子大学文学部准教授)

ねらい 対象者の背景には過去のトラウマがあり、今なおその影響を引きずっていることが往々にしてあります。トラウマインフォームドケアの観点から、対象者の理解に努めます。

講師プロフィール 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授。精神保健福祉士・社会福祉士・博士(保健福祉学)。(略歴) 帝塚山大学心理福祉学部の助手・講師を務めたのち、2010年より現職。TICC(トラウマインフォームドケア&コミュニティ)共同代表理事。(著書)著書・訳書等に「犯罪被害を受けた子どものための支援ガイド」(2016年 金剛出版 監訳)。

今年のポイント!
現在、トラウマインフォームドな対応ができる支援者が組織が求められるようになっていきます。司法領域の対象者に絡めて、TICについて考えてみます。



講義-7 「思春期・青年期の子どもたちと虐待」～子どもシェルター・自立援助ホームの取組から～

丹羽 有紀 先生 (弁護士)

ねらい 少年非行の一つの背景となっている虐待の問題について、思春期・青年期の子どもたちに虐待が及ぼす影響と子どもたちへの支援の現状を学びます。

講師プロフィール 弁護士・NPO法人子どもセンターぬっく理事。1998年家庭裁判所調査官補採用。家庭裁判所調査官、主任家庭裁判所調査官を経て2017年3月家庭裁判所を退職。2018年3月弁護士登録



今年のポイント!

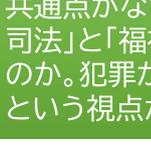
子どもシェルター7年目、自立援助ホーム3年目の実践の中でより明確になってきた課題やアフターケアの重要性について、私たちの団体の模索と取組とともにお伝えします。

講義-8 「刑事司法と福祉のつながり：犯罪からの離脱支援」

水藤 昌彦 先生 (山口県立大学社会福祉学部教授)

ねらい 非行や犯罪をした人への福祉による支援の現状を確認し、犯罪からの離脱支援の意義、留意点などについて考えます。

講師プロフィール オーストラリア・ビクトリア州政府ヒューマンサービス省にて、障害のある犯罪行為者への対応などに関わる。2008年より社会福祉法人北摂杉の子会勤務を経て、2011年山口県立大学社会福祉学部准教授。2017年より現職。独立行政法人国立のぞみの園参事を兼務。(著書)『当事者と援助者の「共助する関係」—刑事司法領域における対人援助の基本』(現代人文社、2020年)など。



今年のポイント!

共通点がなさそうに見える「刑事司法」と「福祉」が、なぜつながるのか。犯罪からの離脱を支援する、という視点から考えます。



お申し込みについて



下記URLもしくは左のQRコードよりお申し込みいただけます。

<https://yorisen2022.peatix.com/>

申込締切
2023年
2月20日(月)

- お申込み、お支払いを完了している方には、配信開始2日前をメドに受講(視聴)URL及び配布資料(PDF)URLをお申込み時メールアドレス宛にメールにてご送付します。お申込み時のメールアドレスは、お間違えの無い様にご記入ください。
- Session4(セッション4)の『よりそいゼミナール』(無料)は、0~8講義のうち4講義以上を受講(視聴)し、「振り返りレポート」提出者に限り、ご参加(視聴)できます。
- お申込みの方で、期日までに受講料の納付が確認できない場合、受講(視聴)できませんので、ご注意ください。
- 受講(視聴)後に「振り返りレポート」(レポート様式URLは受講(視聴)URLご送付時にご案内)のご提出をお願いします。振り返りレポート提出者には、後日、「受講証明書」を発行し、講義0~8のすべての振り返りレポート提出者には「修了証書」を発行します。
- 受講(視聴)に係るURL等は、ご本人のみの利用で、他人への提供や貸与等は厳禁とします。
- 受講(視聴)お申込みに係りご提供いただいた個人情報(本研修会の目的以外)で使用することはありません。

受講者モデル

～昨年度の受講者を参考に受講者モデルをご紹介します。～



福祉職、要保護児童の居場所を作りたい

Session1	「犯罪と社会」	¥0
Session2	「学校と社会」	¥2,000
Session3	「講義3」 「講義4」 「講義6」 「講義7」	¥2,000 ¥2,000 ¥2,000 ¥2,000
合計	5講座受講	¥10,000



司法福祉に興味があって、すべて受講したい！

Session1	「犯罪と社会」	¥0
Session2	「学校と社会」	¥2,000
Session3	「講義1」～ 「講義8」	¥2,000 × 8講義＝ ¥16,000
Session4	「よりそいゼミナール」	¥0
合計	11講座受講	¥18,000



入口支援に興味があって、刑事手続きの講座から受講してみよう

Session2	「学校と社会」	¥2,000
Session3	「講義1」 「講義2」 「講義3」 「講義4」	¥2,000 ¥2,000 ¥2,000 ¥2,000
Session4	「よりそいゼミナール」	¥0
合計	6講座受講	¥10,000



出所者に関わっていて、昨年から受講している。今年は、実践編を学ぼう

Session2	「学校と社会」	¥2,000
Session3	「講義5」 「講義6」 「講義7」 「講義8」	¥2,000 ¥2,000 ¥2,000 ¥2,000
Session4	「よりそいゼミナール」	¥0
合計	6講座受講	¥8,000



興味はあるけど、受講料を払ってまでは。まずは、無料講座と1講義受けてみよう。

Session1	「犯罪と社会」	¥0
Session3	「講義1」	¥2,000
合計	2講座受講	¥2,000



福祉大学の2年生。司法福祉の勉強はしているが実践のイメージができない。導入編を聞いてみよう

Session1	「犯罪と社会」	¥0
合計	1講座受講	¥0



刑事司法と福祉の講義の担当教員。勉強したいが、通学は困難。オンラインならライフスタイルに合わせて学習できる！

Session1	「犯罪と社会」	¥0
Session3	「講義1」～ 「講義8」	¥2,000 × 8講義＝ ¥16,000
合計	9講座受講	¥16,000

毎年更新
法や制度の改正・追加によっても、講義内容を変更し、視聴者によりわかりやすい講義に毎年ブラッシュアップ！

安いお得
1講義から受講OK！目的や興味のある講義を選択できるため、すべて受講する必要はありません。

選択自由
1講座2000円で、1カ月何度も繰り返して視聴できる他にはない安さ！無料講義や受講者特典ゼミナール講座など充実！

よりそいネットおおさか 会員について

一般社団法人よりそいネットおおさかは、刑務所等の矯正施設を退所した人たちの支援や、支援者との関係づくりに取り組み、ネットワーク型の福祉構築をめざした活動を行っています。当団体の趣旨・目的にご賛同の法人・個人の方々には会員加盟をいただき、共に協働の輪を拡げていくことを願っています。お気軽に事務局までお問い合わせください。

法人会員(一口)10,000 円 個人会員(一口)2,000 円

お問い合わせ <http://yorisoi-osaka.jp/>
(TEL) 06-6711-0130



セミナーや専門的な研修、ネットワーク会議、など盛りだくさんの企画が会員価格で参加できます！



一般社団法人

よりそいネットおおさか

(大阪府地域生活定着支援センター受託団体)

お申込み・お問い合わせは下記の電話番号までご連絡ください

(TEL) 06-6711-0130 (FAX) 06-6762-8645

(HP) <http://yorisoi-osaka.jp/>